

調査研究事業（住民活動支援（コンサルタント））実績一覧

年度	実施地区	内容	委託先
平成10年 ～11年	荒川村	遊休農地を活用し、地域の特産であるそばを増産し、そばの里づくりや文化伝承の里づくりを進めた。	(株)ポリティック・エディティ
平成11年 ～12年	旧神泉村	遊休農地の活用やパンジーなどの鉢花栽培を行い、高付加価値型農業の実践につなげた。	(株)社会調査研究所
平成12年 ～13年	横瀬町	棚田の保全や遊休農地を活用した「寺坂棚田学校」の開催など交流事業として定着した。	(株)社会調査研究所
平成15年 ～16年	越生町	ふるさと探検隊やふるさと写真展を開催し、地域コミュニティの醸成を図り都市住民との交流を図った。	(株)ポリティック・エディティ
平成17年 ～18年	東秩父村	遊休農地の解消のため花桃を植栽し、花桃まつりの看板づくりなど、イベント開催につなげた。	(株)ポリティック・エディティ
平成18年 ～19年	秩父市吉田石間	「石間交流学習館」を核とした地域活性化を目指し、地域資源の洗い出しと都市農村交流イベントを実施した。	(株)インタージ
平成19年 ～20年	ときがわ町	廃校を活用した「くぬぎむら体験交流館」の開所にあたり、地域住民による地域資源の再発掘と誘客手法についてワークショップを開催。	(株)農協観光
平成20年 ～21年	秩父市中津川	地域住民による、地域資源の洗い出しと活性化方策についてワークショップを開催。	(株)ポリティック・エディティ
平成21年	皆野町	ワークショップを開催し、地域資源の再発掘を行った。協議会及び地域資源ごとの部会を立ち上げ、都市農村交流イベントを開催。	NPO法人埼玉ツーリズム協議会
平成21年 ～22年	横瀬町	地域資源の再評価を行い、交流施設として道の駅を活用することや交流・定住人口増を目指し、地域活性化組織「アスガキボウ委員会」を設立した。	(株)JTB関東
平成23年 ～24年	小鹿野町	「尾ノ内百景氷柱」の観光客へのおもてなしの一環として地域住民による郷土料理の提供や地域の四季の魅力や伝統文化を伝えるかわら版の作成などを実施。地域活性化組織「河原沢よってがっせー委員会」を設立。	(株)JTB関東
平成25年 ～26年	東秩父村	交流・定住人口の拡大を目指し、村の和紙、自然、農業の魅力が村外に発信する取組のため、「夢楽いく会」を設立。12月には、村コンを開催し、和紙漉きや農業体験等をとおして、村に若者を呼び込む取組を行う。	(株)ブランド総合研究所
平成26年 ～	秩父地域	平成26年2月の記録的な大雪によって、大きな被害を受け、秩父地域の観光農園に訪れる観光客数が大幅に減少した。秩父地域の観光農園の復興を支援するため、農業者の連携を推進し、都市住民に秩父地域の観光農業の魅力を積極的に伝え、観光客数の回復を図っている。	秩父観光農林業協会